

鳥取砂丘の滞在環境等の上質化に関する提言

— 鳥取砂丘に関係のあるみなさまへ —

鳥取砂丘未来会議
会長 松原雄平

鳥取砂丘未来会議は、先人から受け継いだ鳥取砂丘の優れた自然環境を次世代へと確実に引き継いでいくとともに、鳥取砂丘の多様な価値や魅力をさらに高め、国内外へ伝えることを目的に、これまで、鳥取砂丘の保全再生と利活用を推進してきた鳥取砂丘再生会議を発展的解消し、2018年11月に設立されました。

一方、国においては、2020年における訪日外国人旅行者数を4000万人、国立公園に来訪する外国人利用者数を1000万人とする目標が掲げられ、都市部に集中する訪日外国人旅行者を全国の国立公園へと分散・送客する取り組みが始められたところです。

しかし、鳥取砂丘を訪れる旅行者や利用者の上質な滞在環境は、まだ十分整っているとは言えません。このため、当会議に2つの専門のワーキンググループを立ち上げ、1年間にわたってこの課題についての議論を重ねてきました。

その結果を踏まえ、このたび、鳥取砂丘に関係のある各行政機関、各種団体のみなさまへの提言を次のとおり取りまとめましたので、関係者のみなさまには趣旨をご理解のうえ、提言内容の実施にご協力をお願いいたします。

提言1：鳥取砂丘ビジターセンター西側施設の整備（環境省）

山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター（東側施設）の開館により、砂丘東側のインフォメーション機能は高まりましたが、砂丘西側では、依然、インフォメーション機能は不足しています。このため、鳥取県と連携し、県の休憩舎付近に、サイクリングターミナル（提言3）と役割を分担したビジターセンターの分館的機能を有する施設を整備されるよう提言します。

提言2：鳥取砂丘こどもの国の整備（鳥取県）

鳥取砂丘こどもの国は、児童厚生施設ですが、観光面においても、鳥取砂丘に欠くことのできない施設です。このため、さらなる観光誘客に向けた施設整備を進められるとともに、隣接する鳥取市の施設と連携した垣根のない施設運営に取り組まれるよう提言します。

提言3：サイクリングターミナルと柳茶屋キャンプ場の整備（鳥取市）

サイクリングターミナル砂丘の家には砂丘西側の総合案内的機能を、柳茶屋

キャンプ場にはグランピングやオートキャンプといった新たな機能を整備し、砂丘西側の拠点施設として民間活力の導入を前提に、一体的に運営されるよう提言します。

提言４：リゾートホテルの整備（鳥取市）

リゾートホテルは、鳥取砂丘を滞在型観光地へと押し上げる起爆剤となる施設です。このため、公募事業者と連携し、砂丘西側の拠点としてはもとより、圏域の観光やジオツーリズムをけん引できる拠点として整備されるよう提言します。

一方、リゾートホテルの整備による旅行者等の増加が、砂丘の希少な野生動物（特に砂丘の西側及び南側の昆虫類）の生息に影響しないよう十分な対策を要請します。

提言５：民間商業施設等の老朽化・景観改善対策（関係行政機関・民間事業者）

鳥取砂丘周辺の民間商業施設の老朽化・景観改善対策は、民間事業者の経営努力だけでは困難なものも見られます。このことから、新たな補助制度を創設されるなど、関係行政機関からの支援を要請します。

民間事業者においては、関係行政機関と連携し、積極的に老朽化・景観改善対策に取り組まれるよう提言します。

提言６：来訪者への環境啓発（関係行政機関・来訪者）

来訪者には、鳥取砂丘の優れた自然環境を次世代へと確実に引き継ぐための行動について、理解と協力を求めます。

来訪者への啓発は、法令の整備、施設等の整備、鳥取砂丘の価値や魅力を来訪者に伝える人材育成など、物的、人的の両面での対応が必要です。このため、関係行政機関においては、環境啓発に向けた物的、人的支援を要請します。

提言７：保全活動ボランティアへの協力（県民・市民・企業・マスコミ等）

砂丘地への外来植物の定着や大量の漂着ゴミなどから砂丘環境の劣化を防止するには、砂丘の価値や魅力を理解する多くの人の協力が必要です。このため、保全活動ボランティアの動員に、さらに多くの人の賛同が得られるよう協力を要請します。

提言８：鳥取砂丘を実地とする実証実験や調査研究の普及（企業・大学）

鳥取砂丘は、近年、宇宙分野に関する実証実験で実地に選ばれました。また、過去の気候変動の解明に関する調査研究などでも利用が進んでいます。このことから、企業や大学における実証実験や調査研究の実地として、今後、ますます、鳥取砂丘の利用が普及し、その成果が、鳥取砂丘の保全と利活用に還元されるよう依頼します。

以上